



特大教室

学生食堂

東京都文京区に構える、中央大学法学部の都市型キャンパス。

茗荷谷キャンパスへようこそ。

Introduction of
Myogadani Campus

ひろがる、つながる、ふかまる

135年以上の伝統と実績を受け継ぎ、「**「実地應用ノ素ヲ養フ**」という建学の精神のもと、引き続き、新たなキャンパスで地球的な視野に立った法的問題意識と法的問題解決能力を備えた人材を養成します。

Pick up



茗荷谷 スチューデントハブ

MSH Myogadani Student Hub

MSHは、学内のさまざまなサービスを学生のみなさんにワンストップで提供する、相談・手続きの窓口です。そして、学生同士、学生と学生団体とをつなぐ、創造的出会いの場でもあります。



MSHでできる相談・手続き

- キャリア支援
- 各種奨学金
- 教職課程
- 全学的教育プログラム (FLP)
- 留学、外国語学習の支援
- 経理研究所講座
- ライティング・ラボ
- ボランティア活動

Introduction of Myogadani Campus

駅ちか・都心型キャンパスで 新しい時代を切り拓く。

茗荷谷キャンパスは東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分。
池袋駅まで2駅、その他主要駅にも30分以内というアクセスの良さ。
都心ならではの利便性抜群の立地です。



4階：法学部図書館



5階：屋上庭園前ラウンジ



茗荷谷キャンパスの外観は、中央大学の前身である英吉利法律学校の赤レンガ造り校舎をモチーフとしつつ、低階層には、旧駿河台校舎と同じ尖頭型アーチを取り入れ、伝統的かつ端正な様相のなかにも、開放感のある空間です。教室は遠隔授業やハイブリッド型授業に対応。図書館や食堂は、創立者が学んだイギリスのミドル・テンプルをモチーフとしたインテリアで統一されています。大学施設のほか、文京区の地域活動センターや保育所なども併設され、地域との共生、地域への貢献を実現しています。

学びのチャンスを広げるアクセシビリティ

Pick up

思い描く将来を引き寄せてモチベーションをUP!

法廷傍聴会



法曹界や法律家を目指す学生に
人気のイベント
実際の裁判を肌で感じることができる
貴重な機会

法廷傍聴会は、*中央大学法曹会と中央大学法学部が共同で実施しているイベントです。実際に刑事裁判を傍聴した後、その事件の内容や裁判の進行等について弁護士の先生から解説していただきます。講師を務めるのは中央大学法学部および中央大学法科大学院を卒業・修了した現役の弁護士などで、質疑応答の時間も設けられています。2023年度は霞ヶ関の東京弁護士会館にて開催、抽選の結果26名の本学部生が参加しました。

*中央大学卒(ロースクール含む)の法曹実務家の団体

日本と世界の未来を創るために必要な

「リーガルマインド」を身につけることができます。

1

法学部生と卒業生との交流が密に

法学部の茗荷谷キャンパスへの移転(2023年)と同時に、法科大学院(ロースクール)は駿河台キャンパスに移転。両キャンパスは地下鉄で3駅という近接した位置関係となり、これまで以上に卒業生との交流が増えるなど、法曹教育の環境が充実しています。



2

学びのフィールドはさらに拡大、学びのかたちもより充実

法学部が都心に移転することにより、後楽園キャンパスの理工学部、市ヶ谷田町キャンパスの国際情報学部の3学部が、文理横断型の共同開講科目である「学問最前線」を開講。3学部共同開講科目で、社会科学系と理工学系の多方面から分析できる視点を養います。さらに、卒業生のネットワークを活かし、社会の第一線で活躍する実務家を招いた講義を、積極的に展開していきます。